「平成３１年度に実施した仕事」の振返りシート（Ａ：裁量有）

記入日　令和　２ 年　７ 月　１　日

事業名称	財産管理事務費　［ 財産管理事務事業 ］										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	財産管理費	事業番号	3
事業の種別	☑ 市単独　☐ 補助対象　☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	総務管財　課　用地管財　係								課長名	岩本　尚史	

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行　ー　2
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書（ページ）	122

1 この仕事の目的

❶ 誰（何）を対象にしていますか。		1 ❶の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
公有財産	→	公有財産面積（土地） 公有財産面積（建物延床面積）
❷ ❶をどのような状態にしたいのですか。［簡潔に］		2 ❷の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
適正に維持管理される。	→	異動件数/異動処理件数*100
❸ そのために何をしましたか。		3 ❸をどのくらい行いましたか（活動指標）
①財産の異動に伴い、公有財産台帳の作成、変更、閉鎖を行い、現在面積等を把握する。 ②申請に基づき市有地と隣接土地の管理境界区域証明を行う。 ③申請に基づき、行政財産の目的外使用許可を行う。 ④普通財産の貸付、その他維持管理業務を行う。 ⑤建物保険・施設賠償保険（芋窪緑地）の加入・解約・請求手続きを行う	→	①異動処理件数 ②証明発行件数 ③使用許可件数 ④貸付件数 ⑤加入・解約件数

2 指標の推移

		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成２９年度実績	平成３０年度実績	平成３１年度実績	令和２年度目標	令和３年度目標
対象指標	1の数値	土地㎡	526,989.76	527,269.18	527,888.18		
		建物㎡	144,650.35	144,764.22	144,764.22		
成果指標	2の数値	%	100.0	100.0	100.0		
目標	2の目標値	%	100	100	100		
	目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	①件	14	36	18		
		②件	3	4	5		
		③件	25	25	51		
		④件	3	2	6		
		⑤件	106	104	102		

3 経費

事業費（実績）	円	2,510,360	2,049,346	7,061,367
財源 一般財源	円	2,510,360	2,049,346	7,061,367
財源 特定財源	円	0	0	0
財源 特定財源（うち受益者負担）	円	0	0	0
人件費（目安） 所要人数(再任用以外)	人	1.0	1.0	1.0
人件費（目安） 所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0
人件費（目安） 職員人件費(再任用以外)	円	8,244,000	8,244,000	8,310,000
人件費（目安） 職員人件費(再任用)	円	0	0	0
事業費＋人件費	円	10,754,360	10,293,346	15,371,367

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費（再任用職員以外）
年間単価は、 8,310,000 円
時間単価は、 4,300 円
で計算してください。
【算出根拠】平成30年度決算数値。
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

4 環境変化等

（１）開始年度　不明　年度

（２）環境の変化

土地に対する権利意識の高まりなどから、本事業の重要性は増してきている。

事業名称	財産管理事務費 ［財産管理事務事業］		
担当部署・課長名	総務管財　課　用地管財　係	課長名	岩本　尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、**平成31年度中**に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 市有地の財産運用（貸付、売払い等）について、議会でも取り上げられている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可） ☐ 取り組んだ　取組手法： ☑ 取り組まない　【取組手法の種類】 ①共催　②実行委員会・協議会　③事業協力　④事業委託　⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：　　）⑦後援・場の提供　⑧その他（　　） (2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成３０年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記） 確認作業に多大な時間を要するため、現状の人員数では実施が困難である。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成３１年度に実施したこと。 人員の補充はなかったため、実施は困難であった。行政財産の目的外使用許可により収入が増加した。 (3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市の歳入確保のため、行政財産の目的外使用許可や普通財産の貸付など積極的に行なう必要がある。
8 施策貢献状況	（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☑ なっている　☐ 環境の変化等により成果が減少している　☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名：　　）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7　課題（3）」の課題及び「8　施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☑ 拡大　☐ 現状維持　☐ 縮小　☐ 休止　☐ 廃止 【取組内容】 市の土地の貸付等、積極的に行ない歳入確保に努める、 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 市が土地を貸付している等の周知方法等の検討。